

dyso  
自民新聞

## 内部資料作成 防衛相が釈明

3カ月間内容把握せず

中谷元・防衛相は十九日の参院平和安全法制特別委員会で、安全保障関連法案の成立を前提に防衛省制服組の統合幕僚監部が自衛隊活動に関する内部資料を作成した問題について「法成

立時期を予断したものではない」と釈明した。国会で追及されるまでの約三カ月間資料の内容を把握していなかったと認めた。野党は文民統制を逸脱し国会を軽視していると批判を強めた。

特別委は資料をめぐり紛糾し途中で散会した十一日以来、審議を再開した。＝関連

③面、論戦のポイント④面

中谷氏は、法案の閣議決定翌日の五月十五日、内容を隊員に周知するよう指示し、統幕が内部部局と調整して下旬に資料を作ったと説明。同二十六日に陸海空三自衛隊指揮官らが参加したテレビ会議で使ったと明らかにした。その上で「法案の成立後に具体化すべき課題を整理した。任務として実施する防衛省・自衛隊が内容を分析、研究するのは当然だ」と訴えた。同時に「私の指示の範囲内のものだ。シビリアンコントロール上の問題があるとは考えていない」と明言した。